

R3年度 事業名	幼稚園預かり保育事業
R2年度 事業名	幼稚園預かり保育事業

総合戦略 体系	313	若くて元気なまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	幼児同士の交流の場を設け、遊びを通して人とかかわり方や心のつながりを深められるように支援する。				
	概要	通常の教育課程による教育時間終了後(14:00~17:00)に、地域の実態や保護者の要請により、希望する者を対象に教育活動(預かり保育)を行う。<片上幼稚園、北中山幼稚園で実施>				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 預かり保育の実施にあたり、感染症予防対策を講じた。 (R3年度) 検温、消毒等の徹底により感染症予防対策を行い、預かり保育ニーズに対応する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	預り保育専門の教諭を2名雇用し、配置する。		
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
預かり保育実施日数		日	目標値	190	190	190	190	190
			実績値	202	214	240		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
受入対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	受入者数/申請者数	達成率	100	100	100			
		実数値	2230/2230	2830/2830	2434/2434			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	1,804	2,312	2,399	2,882	2,445	事業タイ	補助(国)事業
	決算額	1,804	1,486	2,045	2,179		経費区分	人件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	57,858	2,070	
2	10	4	1	231	子育て支援活動推進事業費	665	375	
3								
4								
5以降								
							合計	2,445

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金	1,538
2	雑入	0
3		
4		
5以降		
合計		1,538

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
地域に保育所のない北中山幼稚園と片上幼稚園において、幼稚園の通常の教育時間終了後の午後2時から午後5時まで、保育の必要性の認定を受けた園児を園で預かり、家庭の子育てを支援する。
また、夏期休業期間においても預かり保育を実施する。

来年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	病後児保育事業
R2年度 事業名	病後児保育事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	保護者の都合により、家庭で保育が困難な病後回復期の小学校6年生以下の児童を病院等で一時的に預かることで児童の福祉の向上を図る。					
	概要	病後回復期にあり保育に欠ける児童を施設にて預かる。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 利用希望者の検温、病状などの把握しつつ、感染症予防対策を講じた。 (R3年度) 感染症予防対策を継続し、保育ニーズに対応する。					
	法令 根拠		実施 形態	内容	病後回復期にあり保育に欠ける児童を施設にて預かる。		
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
開設施設数		所	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
利用申込者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	受入者数/利用申込者数		達成率	100	100	100		
			実数値	155/155	179/179	93/93		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	8,757	8,792	8,924	8,889	9,024		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	8,757	8,792	8,798	8,596			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	301	病後児保育事業費	9,024	9,024	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	9,024

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金	5,766
2	病後児保育受託事業収入	130
3		
4		
5以降		
合計		5,896

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
齋藤病院「わらべ」と公立丹南病院「えくぼ」他市外6施設において、病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かることで、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施する。

来年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	病児保育事業
R2年度 事業名	病児保育事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	保護者の都合により、家庭で保育が困難な病気治療中の小学校6年生以下の児童を病院等で一時的に預かることで児童の福祉の向上を図る。					
	概要	病気治療中の児童で保育に欠ける児童を施設にて預かる。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 利用希望者の検温、病状などの把握しつつ、感染症予防対策を講じた。 (R3年度) 感染症予防対策を継続し、ニーズに対応する。					
法令 根拠		実施 形態	内容	病気治療中の児童で保育に欠ける児童を施設にて預かる。			
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
開設施設数		所	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
利用申込者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	受入者数/利用申込者数		達成率	100	100	100		
			実数値	850/850	866/866	360/360		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	16,966	16,901	17,048	17,748	16,048		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	16,807	16,900	15,230	14,345			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	302	病児保育事業費	16,048	16,048	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	16,048

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金	9,738
2	病児保育受託事業収入	784
3		
4		
5以降		
合計		10,522

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
斎藤病院「わらべ」と公立丹南病院「えくぼ」他市外6施設において、病気療養中の乳幼児を一時的に預かることにより、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施する。

来年度へ向けて R2年度の実績
病気療養中の乳幼児を一時的に預かることにより、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	鯖江市保育協議会運営補助事業
R2年度 事業名	鯖江市保育協議会運営補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	1970	終了年度	9999
	目的	鯖江市保育協議会の活動(保育士研修、講演会、保育園親子遊び等)を支援し、保育所間の交流を深め、保育の資質向上を図る。				
	概要	鯖江市保育協議会の運営費の一部を補助する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)8月までの会議等活動を中止、延期したが、リモートによる研修会を開催した。 (R3年度)市内県内の感染症拡大の状況を注視し、予防対策対策を行いながら、柔軟に事業を実施する。 (R4年度)県内の感染状況を把握し、リモートによる研修会、講演会も前提として柔軟に事業を実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	公立、私立保育所の園長、保育士、保護者、園児からなる協議会の事務局を市に置き、運営にあたる。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
講演会・研修会開催回数		回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	1		
計算 根拠	講演会・研修会開催回数/目標値	達成率	100	100	16			
		実数値						
			ランク	A	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症予防の為、中止となった。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	70	70	70	70	70		事業タイ	単独事業
	決算額	70	70	70	70	70		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	602	保育協議会補助金	70	70	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	70

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
 鯖江市保育協議会が年間で行っている行事等の運営費の一部を補助する。(R2は50周年を迎える。)

来年度へ向けて R2年度の実績
 子育て講演会、公私立年齢別研究部会、さばえつつじっこフェスタ等により、保護者および保育者の連携強化や児童の健全な発達に寄与する活動を実施した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
 新型コロナウイルス感染症予防の為、リモート研修会や電子的手法による書面決議を開催したが、大規模なリモート研修等を行う場合の技術的なサポートが必要となる。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
 特になし。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	保育カウンセラー事業
R2年度 事業名	保育カウンセラー事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	保育カウンセラーにより市内の保育所に属する児童の心身の発達をサポートすることで、発達相談・支援体制の充実を図る。					
	概要	保育カウンセラー(臨床心理士など)が定期的に市内の保育所を訪問し、園児の状況把握、障害をもつ児童の指導等を行う。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令 根拠 現在	保育カウンセラー配置事業補助金 市直営	実施 形態	内容 市内の保育所の気がかり児について、保育カウンセラーが定期的に園を訪問し、児童の指導および保育の仕方について指導を受ける。			

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
訪問園数			目標値		22	22	22	22
			実績値		20	20		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
カウンセリング実施率	%		目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	カウンセラーした実児童数/カウンセラー対象実児童数×100		達成率	100	100	100		
			実数値	275/275	289/289	267/267		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,845	1,800	1,800	1,826	1,850		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	1,551	1,742	1,655	1,826			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	204	保育カウンセラー事業費	1,850	1,850	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,850

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	保育カウンセラー配置事業費補助金	925
2		
3		
4		
5以降		
合計		925

事業要員	正規職員	0.15
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
公私立保育園等に入園している児童の心身の発達をサポートするため、臨床発達心理士が定期的に保育所等施設訪問を行い、園児の状況把握、障がいのある児童や気掛かり児童に関する保育士への指導、保護者の相談等を行う。

R2年度の実績
公私立保育園等に入園している児童の心身の発達をサポートするため、臨床発達心理士が定期的な訪問の中で保育士への指導、相談等を行うことで児童の心身の発達をサポートした。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	低年齢児保育充実促進事業
R2年度 事業名	低年齢児保育充実促進事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	1、2歳児担当の保育士を配置基準以上に配置することで1、2歳児の保育を充実する。					
	概要	1、2歳児担当の保育士を最低基準以上に配置する保育園の人員費等の一部を補助する。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令 根拠	低年齢児保育充実促進事業実施要綱	実施 形態	内容	1.2歳児の保育士を最低基準以上に配置する保育園の人員費を補助する。		
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
実施私立保育園数		園	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	4	5	6		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入所希望者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	低年齢児受け入れ人数/低年齢児入所希望数	達成率	100	100	100			
		実数値	259/259	303/303	370/370			
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	14,000	11,828	13,798	16,263	14,784	事業タイ	補助(県)事業
	決算額	11,335	11,827	13,798	15,646		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	611	低年齢児保育充実促進事業費	14,784	14,784	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	14,784

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	低年齢児保育充実促進事業費補助金	7,392
2		
3		
4		
5以降		
合計		7,392

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
1・2歳児が多く入所している私立保育園に対し、加配した保育士の人件費の一部を補助する。

来年度へ向けて R2年度の実績
加配した保育士の人件費の一部を補助することで、1、2歳児の保育を充実した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
6園にて事業実施を行うことができたが、多様な保育に対応するため保育士加配ができない園もある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	一時保育促進基盤整備事業
R2年度 事業名	一時保育促進基盤整備事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	育児疲れ解消、急病、断続的短時間就労等、一時的に保育が必要となる児童を保育所にて預かることで、保護者の利便性および児童の福祉、健康維持を行う。				
	概要	育児疲れ解消、急病、断続的短時間就労等、一時的に保育が必要となる児童を保育所にて預かる。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	内容	一時的に保育が必要な児童を保育所にて預かる。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
実施私立保育園数		園	目標値	7	8	8	8	8
			実績値	6	8	10		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入所希望に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	年間延利用人数/年間延利用申請人数		達成率	100	100	100		
			実数値	1161/1161	553/553	1138/1138		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	4,000	4,000	4,200	5,300		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	2,953	2,694	1,567	2,840			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	304	一時保育促進基盤整備事業費	5,300	5,300	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,300

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金	3,430
2		
3		
4		
5以降		
合計		3,430

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
保護者が、仕事の都合、冠婚葬祭、入院等で一時的に家庭での保育が困難になった場合に、児童を預かる「一時的保育事業」を実施している私立保育所に対し、事業費の一部を補助する。

R2年度の実績
一時的な保育を実施したことにより、利用保護者の利便性および児童の福祉、健康維持を図った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	私立保育所産休代替職員費補助事業
R2年度 事業名	私立保育所産休代替職員費補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	産休等職員の療養の保障および代替臨時職員の雇用により児童処遇の安定を図る。				
	概要	私立保育園産休等職員の代替臨時職員の賃金の一部を補助する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	私立保育園産休等職員の代替職員の賃金の一部を補助する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
実施私立保育園数		園	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	0	0		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
対象園での産休職員配置率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	0	0	0		
計算 根拠	産休代替職員数/産休職員数		達成率	0	0	0		
			実数値					
			ランク	C	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	私立保育園からの申請が0件だったため。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,008	1,008	1,008	1,008	672		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	0	0	0	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	603	私立保育所産休代替職員費補助金	672	672	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	672

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	産休代替職員費補助金(私立)	672
2		
3		
4		
5以降		
合計		672

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
私立保育園において、産休等職員の代替臨時職員の賃金が発生した際に、賃金の一部を補助する。

来年度へ向けて R2年度実績
実績なし

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	私立保育所障害児保育補助事業
R2年度 事業名	私立保育所障害児保育補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	保育所における障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援する。				
	概要	私立保育園の障がい児童受け入れの促進のため、障がい児受け入れに対する費用の一部を補助する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	内容	私立保育所の障がい児受入に要する費用の一部を補助する。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入園決定率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	入園障害児数(在園児含む)/入園希望障害児数(在園児含む)	達成率	100	100	100			
		実数値	12/12	16/16	14/14			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	8,897	10,454	12,900	13,346	13,346		事業タイ	単独事業
	決算額	8,897	10,454	12,900	12,456			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	604	私立保育所障害児保育措置費補助金	13,346	13,346	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	13,346

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
私立保育園の障がい児童受入れの促進のため、障がい児(重度)を受け入れている私立保育園に対し、費用の一部を補助する。

来年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	ふれあい保育推進事業
R2年度 事業名	ふれあい保育推進事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	保育所における中・軽度障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援する。				
	概要	私立保育園の中・軽度障がい児受け入れにかかる費用の一部を補助し、児童受け入れを支援する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	私立保育園の中・軽度障がい児受け入れにかかる費用の一部を補助する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入園決定率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	入園障害児童数/入園希望障害児童数	達成率	100	100	100			
		実数値	25/25	17/17	21/21			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	16,878	17,568	17,590	15,867	14,691	事業タイ	補助(県)事業
	決算額	12,298	14,542	8,806	11,900		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	608	私立保育所ふれあい保育推進事業費補助金	14,691	14,691	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	14,691

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
心身に中軽度の障がいがある児童を保育する私立保育園に対し、費用の一部を補助する。

来年度へ向けて R2年度の実績
保育所における中・軽度障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
引き続き中・軽度障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援する。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名 _____
市民主役事業にかかる額(単位千円): _____

R4年度事業名 _____
市民主役事業にかかる額(単位千円): _____ 0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	私立保育所延長保育事業
R2年度 事業名	私立保育所延長保育事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	延長保育を行うことで、保護者の就労形態の多様化に対応する。				
	概要	延長保育を促進するため私立保育園にかかる事業費の一部を委託料として支出する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	内容	延長保育を促進するため私立保育園にかかる事業費の一部を委託料として支出する。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
実施私立保育園数		園	目標値	11	11	12	12	12
			実績値	10	11	10		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
延長保育受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	年間延利用児童数/年間延利用申込者数	達成率	100	100	100			
		実数値	12476/12476	12338/12338	6758/6758			
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	8,500	13,000	13,000	14,200	14,200		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	8,210	9,563	7,894	4,374			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	303	私立保育所延長保育事業費	14,200	14,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	14,200

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金	9,466
2		
3		
4		
5以降		
合計		9,466

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
保護者の就労や子育てを支援するため、早期、夕方の延長保育を実施する私立保育園に対し、事業費の一部を委託料として支出する。

来年度へ向けて R2年度の実績
延長保育の実施により、保護者の就労形態の多様化に対応するとともに、児童の福祉、心身の健康維持に寄与した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	私立保育所運営事業(事務委託料)
R2年度 事業名	私立保育所運営事業(事務委託料)

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	市で行う保育料徴収、入所事務の委託により、保護者の手続き等を行いやすくする。				
	概要	私立保育園に入所に関する事務を委託する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	私立保育園に入所に関する事務を委託する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	私立保育園・こども園入園者数	人	目標値	1,700	1,700	800	500	500
			実績値	1,509	697	672		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	取扱率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	事務取扱人数/私立保育園入園児数×100	達成率	100	100	100			
		実数値	1509/1509	697/697	672/672			
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	12,000	11,622	4,900	4,000	3,331	事業タイ	単独事業
	決算額	7,225	7,119	4,461	3,954		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	301	私立保育所運営事業費	1,843,331	3,331	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,331

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容
R1年10月からの保育料無償化により保育料徴収の対象者は大幅に減少する。

来年度へ向けて R2年度の実績
保護者がスムーズな入所事務や保育料徴収を行うことができた。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
保育料徴収については、私立保育園全て市口座振替に移行し、徴収業務の一元化を行った。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	私立保育所管理運営補助事業
R2年度 事業名	私立保育所管理運営補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	私立保育所の運営の安定を支援し、保育所入所を希望する保護者の利便性への対応と入所児童のための保育を充実を図る。					
	概要	私立保育所の管理運営に係る費用を一部補助する。 ①人件費補助金、②0-157検査手数料補助金、③社会福祉施設整備事業借入金利子補給補助金、④退職共済掛金補助金					
	コロナ対応 の取組	特になし					
法令 根拠		実施 形態	内容	私立保育所の管理運営に係る費用を一部補助する。			
現在	補助金等交付						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入所定員数		人	目標値	1,570	1,570	1,615	1,770	1,770
			実績値	1,694	1,715	1,750		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
受入対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	受入人数/入所希望者数		達成率	100	100	100		
			実数値	1860/1860	1895/1895	1893/1893		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	52,637	50,796	63,771	63,945	64,000		事業タイ	単独事業
	決算額	52,459	50,638	55,678	61,419			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	605	私立保育所退職共済掛金補助金	4,680	4,680	
2	3	2	3	607	社会福祉施設整備事業借入金利子補給補助金	239	239	
3	3	2	3	609	O-157検査手数料補助金	462	462	
4	3	2	3	610	私立保育所人件費補助金	58,619	58,619	
5以降								
							合計	64,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.5
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
私立保育園13園の管理運営(心身ともに健康な児童に成長するよう保育および幼児教育を実施するのに必要な経費)に係る費用の一部を補助する。

R2年度の実績
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	幼稚園子育て支援事業
R2年度 事業名	幼稚園子育て支援事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	幼稚園が「親と子が共に育つ」という教育的視点から地域社会と連携しつつ家庭教育力の向上を図る。				
	概要	幼稚園児の保護者に対しては保育参観や保育参加の場の提供、未就園児親子には園舎・園庭を開放し、交流の場を設ける。また、子育て相談等の親の支援をする。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)8月までの園開放等の活動を中止した。 (R3年度)感染症予防対策として、事前予約などにより参加人数、解放時間を考慮し実施する。 (R4年度)時間短縮、人数の制限等の感染症予防を行い事業を実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	毎月、未就園児親子に園舎や園庭の開放を行う。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	市内6園子育て支援事業回数	回	目標値	70	70	50	40	40
			実績値	76	53	3		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	幼稚園子育て支援事業参加人数	人	目標値	4,000	3,500	2,500	2,000	2,000
			実績値	4,538	2,600	65		
計算 根拠	市内幼稚園が実施している子育て支援事業における園児、保護者、未就園児数	達成率	113.5	74.3	2.6			
		実数値						
		ランク		A	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの影響により、一定期間事業中止としたため。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	384	410	264	235	116	事業タイ	単独事業
	決算額	327	341	234	133		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	4	1	231	子育て支援活動推進事業費	665	116	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	116

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.4
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
幼稚園を開放することで、地域の幼稚園に通っていないお子さんや在園児を対象に子育て支援を行う。

来年度へ向けて R2年度の実績
幼稚園を開放することで、地域の幼稚園に通っていないお子さんや在園児を対象に子育て支援を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	幼稚園食育推進事業
R2年度 事業名	幼稚園食育推進事業

総合戦略 体系	322	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	食育の推進
------------	-----	-------------	----------------	-------

P L A N (計 画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	食育基本法、鯖江市食育推進計画に基づき、幼稚園における食育推進を図る。				
	概要	野菜の育ちを知るための栽培活動、おやつ作りや伝統料理にかかわる調理実習体験（キッズキッチン）など幼稚園・保護者・地域をとりこんで実践活動を進める。また、保護者向けに食育に関する学習会を開催し、保護者とともに、幼稚園、家庭での食育を進める。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)感染症拡大予防の為、調理実習体験を現在中止している。 (R3年度)調理実習体験の人数、時間の短縮等の感染症拡大予防対策を適切に行い、状況を注視しつつ事業を実施する。 (R4年度)時間短縮、人数の制限等の感染症予防を行い事業を実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	栽培活動、収穫活動、調理体験等を通し、食育に関心を持っていただく。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
幼児の朝食摂取率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	99		
計算 根拠	朝食摂取者/園児数		達成率	100	100	99		
			実数値	242/242	175/175	121/122		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
(実
施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	312	261	218	174	174	事業タイ	単独事業
	決算額	252	228	189	100		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	4	1	231	子育て支援活動推進事業費	665	174	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	174

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.4
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
園の畑を利用した野菜づくり、調理体験を通じて園児の食への関心を高めるとともに、保護者向けに食育に関する学習会を開催し、幼稚園、家庭での食育を進める。

R2年度の実績
野菜の育ちを知るための栽培活動、おやつ作りや伝統料理にかかわる調理実習体験(キッズキッチン)など幼稚園・保護者・地域をとりこんで実践活動を進め、また、保護者向けに食育に関する学習会を開催し、保護者とともに、幼稚園、家庭での食育を進めた。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
新型コロナウイルス感染予防対策により、活動内容の見直しも必要。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度 事業名

R4年度 事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	幼稚園カウンセラー事業
R2年度 事業名	幼稚園カウンセラー事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	保護者の悩みや不安に対するカウンセリングによる支援および教諭の資質向上を図る。				
	概要	不安のある保護者との面談をとおし、子育ての不安や悩みの解消を図る。また、発達障害の疑いのある幼児の観察を行うと共に、その幼児への対応、援助の仕方等担任への指導を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし。				
法令 根拠		実施 形態	内容	専門職員を雇用し、スクールカウンセラーとして配置する。		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
カウンセラー派遣回数		回	目標値	42	35	28	28	28
			実績値	42	35	28		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
カウンセリング実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	相談実施件数/相談申込件数*100	達成率	100	100	100			
		実数値	209/209	260/260	97/97			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	504	504	420	336	336	事業タイ	単独事業
	決算額	504	504	420	336		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	57,858	336	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	336

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	168

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
幼稚園カウンセラーが各園を訪問し、気掛かり児の対応についての担当教諭への指導、保護者からの子育ての悩み相談等に応じる。

来年度へ向けて R2年度の実績
保護者の悩みや不安に対するカウンセリングによる支援および教諭の資質向上を図った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	幼稚園特別支援員配置事業
R2年度 事業名	幼稚園特別支援員配置事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	幼稚園生活を送る上で、特別な援助や支援を必要とする園児に対して、個別に適応支援を行い、集団としての幼稚園教育活動の円滑な推進に資する。				
	概要	発達障がい、肢体等の障がいなどで支援が必要と認められる園児に対し、幼稚園内で生活支援、介助支援等の個別支援を行う支援員を配置する。				
	コロナ対応 の取組	特になし。				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容 支援員を配置し、特別な支援を必要とする園児に対し個別に支援する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
支援員数		人	目標値	9	9	8	7	7
			実績値	9	8	7		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	支援が必要な児童に対して支援する割合		達成率	100	100	100		
			実数値	9/9	8/8	7/7		
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	9,957	11,500	11,604	14,552	12,486		事業タイ	単独事業
	決算額	9,957	11,439	11,604	11,654			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	57,858	12,486	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	12,486

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0
	臨時・嘱託	5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
特別な支援が必要な園児に対して、個別に支援を行う。

来年度の実績
R2年度の実績 特別な支援が必要な園児に対して、個別に支援を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

R4年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	私立保育所体調不良児対応事業補助事業
R2年度 事業名	私立保育所体調不良児対応事業補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2009	終了年度	2021
	目的	保育所へ登園後に体調不良となった児童を、保護者が迎えにくるまで一時的に預かり、保護者の子育てと、就労の両立を支援するとともに、全園児の健康管理・衛生管理をはじめ、地域の子育て家庭の相談支援を実施し、児童福祉の向上を図る。					
	概要	看護師等による、①体調不良児の体調管理、②全児童の健康管理・衛生管理等保健的な対応、③地域の子育て家庭に対する相談支援の対応を行う。					
	コロナ対応 の取組	特になし。					
	法令 根拠	保育対策促進事業費補助金交付要綱	実施 形態	内容	看護師等による、①体調不良児の体調管理、②全児童の健康管理・衛生管理等保健的な対応、③地域の子育て家庭に対する相談支援の対応を行う。		
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
実施私立保育園		園	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	2		
計算 根拠	実施私立保育園数/目標値	達成率	100	100	200			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	4,323	4,371	6,971	7,979	4,472	事業タイ	補助(県)事業
	決算額	4,323	4,371	4,472	7,979		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	612	私立保育所体調不良児対応事業費補助金	4,472	4,472	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,472

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金	2,980
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,980

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
登園後に体調不良となった児童を一時的に預かるための看護師の人員費の一部を補助する。

来年度へ向けて R2年度の実績
登園後に体調不良となった児童を一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援し、園児の健康管理・衛生管理をはじめ、地域の子育て家庭の相談支援を実施し、児童福祉の向上を図った

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
実績が少ないため廃止とする。

R4方向性⇒ **廃止**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	医療的ケア児推進事業
R2年度 事業名	医療的ケア児推進事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	看護師が配置されていない保育所において医療的ケアを必要とする未就学の障害児に対して、医療的ケアの支援を行うことにより、介護者の負担を軽減し、地域での自立生活の基盤形成に資する。					
	概要	地方公共団体において看護師を雇い上げた際の費用を補助し、医療的ケア児の受け入れを行う。保育所等に必要に応じて看護師を派遣する。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	市で看護師1名を雇用する。看護師が休みの時には、訪問看護事業所に委託する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入園決定率			目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	入園医療的ケア児童数/入園希望医療的ケア児童数		達成率	100	100	100		
			実数値	1/1	1/1	1/1		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額		733	2,157	3,021	3,690		事業タイ	補助(国)事業
	決算額		174	303	2,874			経費区分	その他

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	205	医療的ケア児支援対策事業	3,757	3,690	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,690

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	保育対策総合支援事業費補助金	2,766
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,766

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容
市が看護師を雇用し(看護師が休みの際には訪問看護事業所に委託)、医療的なケアが必要な児童を受け入れる施設へ派遣する。

R2年度の実績
看護師を雇用し、保育所において医療的ケアを必要とする未就学の障害児への医療的ケアにより、介護者の負担を軽減し、児童の自立支援を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
小学校等の就学施設へ進級することも踏まえ、学校との連携をより充実する必要がある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	保育士修学資金貸付金
R2年度 事業名	保育士修学資金貸付金

総合戦略 体系	132	魅力ある雇用の創出	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-----------	---------------	------------

PLAN (計画)	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2019	終了年度	2024
	目的	保育士の資格を取得し、将来鯖江市内の保育所等において保育士の業務に従事しようとする方々に当該修学資金を貸付し、鯖江市の保育人材の確保と福祉の増進を図る。				
	概要	保育士の資格を取得し、将来市内保育所等において保育士業務に従事しようとする方に 修学資金を貸し付ける。5年間鯖江市内の保育所等で 保育業務に従事した場合、償還を免除となる。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	奨学資金の貸付	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	広報数		件数	目標値		5	5	5	5
				実績値		5	6		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	貸付件数		件数	目標値		5	5	8	5
				実績値		3	6		
				達成率		60	120		
	計算 根拠			実数値		3/5	6/5		
		ランク			C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額			1,800	2,880	2,520	事業タイ	単独事業
	決算額			1,080	2,160		経費区分	貸付金

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	702	保育士修学資金貸付金	2,520	2,520	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,520

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
市広報、HPのほか県社会福祉協議会、県内の保育士養成機関3施設への周知を行った。

来年度へ向けて R2年度実績
3名が事業の活用があり、将来、鯖江市内の保育所等で保育士業務に従事する意思のある方に修学資金を貸し付けることにより、修学を支援し、市内における保育士の人材確保をすすめることができた。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
県社会福祉協議会の修学資金貸付募集期間および採択枠の増により、周知の時期等を再考する必要がある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒